

5月植物観察会

5月1日(土) 9時~12時

自然保護グループ 笹崎三雄

連休真最中の観察会は曇り空、参加者8人で開催した。あぜ道コースでは絶滅危惧種で食虫植物のイシモチソウを案内。花はすでに落ちていたが、食虫用の小さな昆虫を葉の粘液でとらえる様子をじっくり観察できて大満足。



食虫植物のイシモチソウ

城山コースでは大きくて美的な花シナアブラギリや多くの花をつけて元気なツリバナを観察。またイチリンソウやニリンソウの珍しい実を観察した。

木曽川コースでは初めて紹介するギンリョウソウや紫色の群生が美しいムラサキサギゴケを案内し好評だった。

6月植物観察会

6月5日(土) 9時~12時

自然保護グループ 笹崎三雄

梅雨の晴れ間の観察会は少しの曇り空、参加者6人で開催した。

あぜ道コースでは紫色が美しいキョウソウや、白い花のテイカカズラを案内。テイカカズラは多くの花をつけて大豊作の姿が印象的だった。

城山コースでは咲き始めたハエドクソウを案内した。また筍があちこちで見られた。

木曽川コースでは、ノアザミの花や群生するユキノシタが好評だった。



群生するユキノシタ



山口さんよりササユリ保全のアドバイスをいただく

ササユリ観察記

6月10日(木)

自然保護グループ 笹崎三雄

高島、山田、笹崎の3名で、ともの会の山口さんをササユリ保護区に案内した。山口さんはササユリ開花時期に訪れるのは4~5年ぶりとのこと。

ササユリはA/B両区で全てが咲いており、合計30本の開花だった。山口さんにはササユリ保全活動を指導していただいている。今回の多数の開花状況を大変喜ばれていた。また、この状況を継続するために、もろもろのアドバイスをいただいた。今後モアアドバイスを大切に、ともの会全体で保全活動が進めばいいと思う。

1. 本年度のササユリ開花状況

1) 保護区の開花状況

A区: 12本(昨年は10本)

B区: 18本, 少し離れたところに1本あったのでそれを加えて18本(昨年は6本)

A/B区で合計30本(昨年は16本)

2. 保護区以外での開花状況

1) 大脇登山道: 1本

2) 標識西120付近: 1本

3) 合計2本(昨年は2本)

3. 鳩吹山全体での開花数

32本(昨年は18本) 2013年の30本を超えた。



咲き誇るササユリ

帷子小学校で講演

6月8日(火)

事務局

帷子小4年生の総合「再発見!!かたびらのいいところ」の学習の一環として「鳩吹山のお話を聞く会」が計画された。鳩吹山の地質や花、生き物、歴史、鳩吹山ともの会の活動などについて、実体験や写真を使い高島が話をした。子供たちは、メモを取りながら熱心に聞いてくれた。彼らがこれからも「ふるさとのいいところ」を心に成長してくれることを願っている。



帷子小学校で講演する高島代表

三宅さんを悼む記事

事務局

今年 5 月に逝去された三宅健治さんを悼む記事が 5 月 28 日付岐阜新聞に掲載された。

記事冒頭に【『鳩吹山への愛 貫いた』『ともの会創設者、三宅健治さん悼む』可児市や美濃加茂市の町並みが一望でき、登山愛好家に親しまれている鳩吹山（可児市土田）を守るため、長年力を尽くした男性が今月（5 月）1 日、享年 88 歳で亡くなった。住民グループ「鳩吹山ともの会」の創設者で、初代代表の三宅健治さん＝可児市土田＝。一時 100 人を越えた会員の先頭に立ち、登山道を保全し、山でのマナーを呼び掛け、自然保護を行ってきた。】と紹介された。



岐阜新聞に掲載された記事

その後、約 A4 の 1P 分に渡り、鳩吹山の山火事後、地元のボランティアの尽力で緑が戻り、登山者が増えることのない登山者がもたらすごみ、木の切り倒し、植物の盗掘など大きな問題になった。そんな山を守ろうと、三宅さんらが中心になって、2003 年に同会が発足した。「ボランティア活動と登山は、鳩吹山ともの会の両輪」をモットーに、登山道の整備保全、パトロール、植樹、さらには親子で自然に親しむための学習支援にも尽力した事や会員からの三宅さんの人となりなども紹介された。

市観光協会より寄付金

高島 勝



6 月 17 日。鳩吹山ともの会は、鳩吹山の登山道・遊歩道の整備、維持管理に取り組む活動を評価され、市観光協会より寄付金をいただいた。

これまでの皆さんの活動に感謝すると共に、これからも危険箇所を整備し、安全登山に寄与できるよう、今後とも協力をお願いしたい。

俳句大賞受賞の山口さん

事務局

現役時代は職場で重責を担いながら、駅伝選手も務め、退職後に鳩吹山ともの会に入会され、登山 G、環境保全 G、自然保護 G 等で大活躍された山口昭美さん。最近では眼を患い、山に来る機会は少なくなったが、一時は年間に 300 回以上も登られ、鳩吹山へは 3600 回を超えるほど登った。

こんな『武』に長けた人だと思っていたが、毎日新聞の「東海文芸 2020 年度年間大賞」で俳句大賞を受賞。



東海文芸 2020 粘土年間大賞、俳句大賞の賞状

なんと『文』にも長けた人だったのだ。天は二物を与えずとはよく言われるが、そうではない人が我々鳩吹山ともの会におられる。

最近では地元自治会の里山活動やサユリ保全活動に大活躍されている。皆さん!鳩吹山ともの会の活動を利用して楽しく、元気よく人生を送りましょう!そして、山口さんのように『文武』に長けた人になれると良いですね!?

<俳句大賞受賞 句>

春立つや 大地に弾む 雨の音

鳩吹山の安全登山を願う!

高島 勝

鳩吹山は標高 313.5m の低山であるが、市内外から多くの登山者が訪れる人気の山である。しかし、最近では、年間 10 回程度救助ヘリが出動しているようだ。救助要請は主に下りで滑って転倒による怪我が多いようである。鳩吹山の登山ルートには急な上り下り、石がゴロゴロした箇所、複雑な形状をした根っこだがある箇所等々注意して歩かなければならない箇所が多い。

我々鳩吹山ともの会はパトロール活動や普段の山歩きを通じて安全登山に懸念される様な箇所はないかチェックし、登山道の保守保全をやってきた。今後も安全登山に危惧される箇所があれば、登山道の保守保全を実施し、



安全登山に貢献していきたい。皆さん! 安心・安全な登山を楽しもう!

段差が大きい登山道の補修

これからの活動予定一覧

新型コロナウイルスの感染状況により活動予定が中止・延期になる場合があります。

【環境保全 G 吉田博行】

●毎月第 4 木曜：真禅寺 P / 9 時集合
・8 月は休み ・9 月 23 日（木）

【登山 G 山田栄雄】

●毎月第 3 水曜 帷子地区センター P / 6 時
・8 月 3 日（火） / 4 日（水） ・9 月 15 日（水）

【パトロール G 古田圭史】

●毎月第 2 水曜：真禅寺 P / 9 時集合
・8 月は休み ・9 月 8 日（水）

【自然保護 G 笹崎三雄】

●毎月第 1 土曜：カタクリ P / 9 時集合
・8 月は休み ・9 月 4 日（土）

【地域支援 G 柿元章吾】

●『親子で鳩吹山ウォーキング』支援
9 月 25 日（土）・予備日 10 月 2 日（土）
10:00~14:00 頃（要お弁当）
帷子地区センター / 9 時半集合

【事務局・その他】

●連絡会：土田地区センター / 9 時半集合
・8 月 5 日（木）・9 月 2 日（木）

【鳩吹山ともの会 連絡先】

代表 高島 勝

（自宅） / （携帯）